

学 校 要 覧

令和8年5月1日現在

柴田学園大学附属柴田学園高等学校

校章の由来

本校の母体、弘前和洋裁縫女学校創立に際し、柴田やす先生によって制定された。その由来記によれば、「梅花」は「霜雪を凌ぎ百花に先がける」とあり、我慢強さと他に率先して範を示す姿を表し、またその清香は、心清らかでけがれない姿を表している。

これは、本校の建学の精神である「教育即生活」に通じるものがあり、人の成業の過程には、すべて実行が伴うものとし、日々の学業は言うまでもなく、世の様々の艱難辛苦に耐えて、いよいよ色まし香り高きを訓している。

校 歌

弥富 破摩雄作詞
田村 虎蔵 作曲

The musical score is written for voice and piano. It consists of eight staves. The melody is in a key with two flats (B-flat and E-flat) and a 4/4 time signature. The lyrics are written in Japanese under the notes.

み そ ら に た か き い わ き や ま
よ は さ ま さ ま に か わ れ ど も
ふ も と に ひ ろ き つ が る の べ
か わ ら ぬ も の は ひ と の み ち
た か き を と わ の み さ お に て
あ ら ぬ こ み ち に さ ま よ わ で
ひ ろ き を つ ね の こ こ ろ と す
す す み す す ま ん ひ に つ き に

四、

世はさまぐにかはれども
かはらぬものはひとの道
あらぬこみにさまよはで
すゝみ進まん日に月に

一、

みそらに高き岩木やま
ふもとに廣き津輕野邊
高きをとほのみさをにて
廣きをつねのころとす

目 次

1	位 置	1
2	沿 革	1
3	校 地 ・ 校 舎	3
4	生 徒 定 員	3
5	学 校 経 営 方 針	4
6	教 育 課 程 表	11
7	使 用 教 科 書 一 覧 表	13
8	学 校 運 営 組 織	15
9	年 間 行 事 予 定 表	16
10	職 員 の 状 況	17
11	生 徒 の 状 況	19
12	卒 業 生 の 進 路 状 況	21
13	生 徒 会 組 織	22
14	部 活 動 一 覧	23
15	学 校 図 書 館	23
16	校 舎 配 置 図	24
17	校 舎 平 面 図	25

1 位 置

住所 〒036-8154 青森県弘前市大字豊原一丁目2番地1

電話 0172-32-0135

2 沿 革

本校は昭和23年3月学制改革により現在の場所に設置されたが、その母体は大正12年2月柴田学園創立者故柴田やす先生が、弘前市上瓦ヶ町に弘前和洋裁縫学校を設立したことに始まる。現在学園には本校の他に柴田学園大学・柴田学園大学短期大学部・柴田幼稚園がある。

大正12年2月10日	弘前和洋裁縫学校設置（翌年弘前和洋裁縫女学校と改称）。
昭和3年3月15日	実業学校令により、甲種職業学校に昇格。
昭和19年9月1日	柴田女子実業学校と校名変更。
昭和22年4月1日	柴田中学校設置。
昭和23年3月31日	柴田女子高等学校設置。
昭和28年9月3日	文部省産業教育研究指定「農村作業着並びに家庭着」の研究。
昭和30年3月31日	産業教育施設国庫補助により、調理室115.7㎡，研究室その他109㎡増築。
昭和32年7月6日	文部省産業教育研究指定「津軽地方の食生活の改善」の研究。
昭和38年6月30日	高校急増対策として、円形校舎（鉄筋コンクリート4階建、現在の第2校舎）2,499㎡落成。
昭和38年10月15日	学園創立40周年記念式典並びに円形校舎落成の式典挙行。
昭和38年10月30日	第二南枝寮（高校寄宿舎）859.5㎡，基準テニスコート2面，バレーコート2面増設。学校林12,397㎡植林完了。
昭和41年4月10日	「衛生看護科（定員120名）」，「保育科（150名）」増設。
昭和41年5月15日	体育館（旧第二体育館）797㎡落成。
昭和42年2月28日	岩木山麓桜林に学園山の家438㎡落成。
昭和43年10月11日	柴田学園総合グラウンド完成。
昭和43年10月28日	柴田中学校廃校。
昭和47年7月20日	旧校舎2,450㎡焼失。
昭和48年4月1日	新校舎（現在の第1校舎）増築落成。
昭和48年6月14日	学園創立50周年記念式典並びに新校舎落成の式典挙行。
昭和54年3月31日	「衛生看護科」廃止。
昭和54年7月15日	生徒会館落成。
昭和54年9月5日	総合グラウンドに陸上競技場（三種公認）設置。
昭和55年8月23日	家庭クラブ会館落成。
昭和58年9月14日	学園創立60周年記念式典挙行。
昭和62年7月20日	パーソナルコンピュータ42台導入。
平成3年4月1日	「秘書情報科（定員135名）」増設。「保育科」募集停止。
平成4年12月18日	学園山の家“ヴィラ柴田”752.09㎡落成。

平成5年4月5日	パーソナルコンピュータ50台導入。
平成5年4月30日	学園創立70周年記念式典挙行。
平成10年8月3日	木造校舎一部解体。
平成11年3月2日	体育館（現在の第一体育館）1,073㎡新築竣工式挙行。
平成14年4月1日	定員変更（「普通科」360名，「家政科」180名，「秘書情報科」90名）。
平成15年4月1日	「秘書情報科」を「情報科」に科名変更。
平成15年5月14日	学園創立80周年記念式典挙行。
平成19年3月	生徒用個人ロッカー50台更新。
平成20年2月	生徒用下足ロッカー43台更新。
平成20年7月19日	パーソナルコンピュータ96台更新。
平成22年9月30日	家庭クラブ会館及び南枝寮解体。
平成25年4月1日	1年次「普通科（定員120名）」，「家政科（定員60名）」，「情報科（定員30名）」を「普通科・家政科・情報科（定員210名）」に変更。
平成25年5月14日	学園創立90周年記念式典挙行。
平成25年8月31日	旧第二体育館及び生徒会館解体。第二体育館の跡地はアスファルト舗装し、駐輪場として整備。
平成26年4月1日	2年進級時に「普通科（みらい創造コース，総合進学コース）」，「家政科（三冠王コース，調理食育コース）」，「情報科（ITビジネスコース）」の3科5コースから選ぶ学びのスタイルを開始。
平成27年12月30日	東北女子大学の旧校舎の1階を調理室、2階を職員室・保健室として改装。
平成28年4月1日	東北女子大学の旧校舎を第3校舎、旧体育館を第二体育館として正式に使用開始。
平成30年4月1日	家政科の「調理食育コース」を「調理師コース」に名称変更。
平成30年8月29日	第1校舎1階の男子トイレ及び女子トイレ2か所を改修。第一体育館向かいの男子トイレを改修。
平成31年4月1日	柴田学園高等学校と校名変更。女子校から男女共学校へ移行。
令和2年1月14日	第1校舎2階の男子トイレ及び女子トイレ2か所、3階の男子トイレ及び女子トイレ2か所を改修。
令和2年12月23日	タブレットPC22台導入。
令和3年3月24日	校舎全館Wi-Fi工事完了。
令和3年3月31日	ウェブカメラ、マイクセット14台導入。
令和3年4月16日	パーソナルコンピュータ80台更新。コンピュータ室内装工事完了。
令和3年4月26日	授業教室内装改修工事完了。
令和3年4月28日	生徒用タブレットPC150台導入。
令和3年5月7日	コンピュータミシン（刺繍ソフト込）1台更新。アイロン4台及びアイロン仕上台4台更新。ジグザグミシン45台更新。ロックミシン30台更新。
令和3年6月7日	第1校舎2階の女子トイレ1か所を男子トイレに改修。3階の女子トイレを改修。
令和3年9月27日	柴田学園大学と連携して、高大接続科目等履修を開始。
令和3年12月27日	タブレットPC7台導入。

令和4年4月1日	柴田学園大学附属柴田学園高等学校と校名変更。柴田学園大学及び柴田学園大学短期大学部との高大一貫教育を開始。
令和4年4月6日	生徒用タブレットPC40台導入。
令和4年9月20日	教員用ノートPC22台導入。
令和4年10月12日	教室用モニター8台導入。
令和5年1月19日	生徒用タブレットPC180台導入。
令和5年9月26日	教室用モニター4台導入。生徒用タブレット15台導入。
令和6年5月15日	学園創立100周年記念式典挙行。
令和7年2月26日	教室用モニター4台導入。大型冷風扇2台導入。
令和7年8月7日	授業教室にエアコン18台設置。
令和7年9月25日	暑熱AIカメラ2台導入。
令和7年10月24日	体育館ステージ用プロジェクタ・スクリーン更新。
令和8年3月24日	第一体育館放送設備更新。
令和8年3月31日	第一体育館前女子トイレを2か所洋式に改修。

3 校地・校舎

土 地	面積㎡	備 考	建 物	面積㎡	備 考
校 舎 敷 地	14,811		校 舎	8,233	
運 動 場 敷 地	50,213	共用 43,073	講 堂	754	
そ の 他 敷 地	1,873	〃 1,873	第 一 体 育 館	1,073	
			第 二 体 育 館	866	
			山 の 家	752	共用 752
			総合グラウンド管理棟	89	〃 89
合 計	66,897	共用 44,946	合 計	11,767	共用 841

4 生徒定員

学年 科別	1	2	3	合 計
普通科・家政科・情報科	210			210
普 通 科		120	120	240
家 政 科		60	60	120
情 報 科		30	30	60
合 計	210	210	210	630

5 令和8年度 学校経営方針

校長 芦 野 佐由利

1. 教育方針

- (1) 建学の精神を尊重した生徒主体の学校経営を目指す。
- (2) 「意欲のある生徒」の育成を通して、生徒一人一人に自己肯定感を育成させる。
- (3) キャリア教育を根幹とする出口教育に努める。
- (4) 柴田学園で取り組んでいる高大連携を促進する。
- (5) 多様な生徒の実態を把握するとともに教職員間の情報共有に努め、職員全体が同じ方向の指導対応を図る。

2. 重点目標

- (1) 基礎学力の定着・向上を図り、主体的に学習に取り組む態度を育成する。
- (2) 規範意識を涵養し、責任を重んじる態度を育成する。
- (3) 自己と社会との関わりについて探究し、望ましい勤労観、職業観を育成する。
- (4) 自他を愛し、多様性を尊重し、寛容さと創造性を持ち、「生きる力」を育む人間を育成する。
- (5) 実践的研究の充実を図り、学校の教育課題を解決する。
- (6) 家庭や地域社会と連携し、地域活動への積極的な参加を通して、郷土に誇りを持ち社会的に自立できる人間を育成する。

3. 重点目標達成のための具体的方策

(1) 学習指導の充実

- ①わかる授業及び感動する授業を実践する。
- ②ICT 機器を活用した授業を展開する。
- ③合理的配慮に立脚する授業を実践する。

(2) 生徒指導の充実

- ①HR 経営の充実を図る（生徒と教師の信頼関係の構築）。
- ②規則やルール、マナーを遵守させ、基本的な習慣を身につけさせる（スマホ・携帯・SNS など）。
- ③挨拶の励行、時間の厳守、場に応じた言葉遣いの習慣化等を定着させる。
- ④不登校、いじめ、様々な問題行動の未然防止と早期発見・対策に努める。
- ⑤人権と多様性、人格と個性を尊重する価値観と正しい知識を定着させる。

(3) 進路目標の実現

- ①3年間を通した進路指導の体系化を図り、希望進路を達成できるよう生徒個々の意識の高揚に努める（二者・三者面談の実施）。

②進学意欲を向上させ、目標達成のために系統的・計画的・継続的進学指導をする（高大連携事業を活用した系列校への進学）。

③生徒の大学合格や就職内定に向けて、教員による大学研究、入試問題研究、小論文、面接指導などを推進し、教員の指導力強化を図る。

（４）特別活動の充実（部活動、生徒会活動、ボランティア活動等）

①技術向上を目指すとともに、心と体を鍛える部活動指導を実践する。

②地域行事、ボランティア活動等に積極的に参加し、地域に開かれた学校を目指す（活動内容の情報発信等、学校の魅力をアピールする）。

（５）健康指導・安全指導・環境に対する指導

①自己の健康管理を認識させ、食事・睡眠といった基本的な生活習慣を徹底させる。

②交通ルールを遵守させ、重大な事故を防ぐ。

③事務との連携を図りながら、また、学園の財政状況に応じた学習環境の不整備な部分の整備に当たる。

（６）研修の充実と教職員の資質向上

①校内外研修の充実

②家庭や地域社会と連携した特色ある教育活動の研究・連携

③柴田学園高校の職員としての服務規律の確保（体罰、パワハラ、セクハラ、個人情報漏洩、交通事故・違反、飲酒運転、わいせつ行為、公金等不正経理等）

（７）リスクマネジメント

①生徒が安心して勉学や部活動などに励むことができる環境を整える。

②教職員一人一人がお互いを認め合い、相互理解を持って、生徒の指導に当たる。

４．生徒が輝く学校を目指して（玄関に掲げてある言葉）

（１）「生徒の能力を最大限に引き出す学校」 ➡ 「可能性は無限大」

（２）「生徒にやる気を出させ、夢や希望を持たせる学校」 ➡ 「輝く自分になれる」

５．目指す学校像

○生徒：「この学校に入って良かった」

○保護者：「この学校に入れて良かった」 ➡ 三者がそのように思える学校

○教職員：「この学校に勤務して良かった」

全教職員の活気と連帯感に満ちた和の中で、教職員一人一人の主体性や特性が生かされる組織運営を目指すとともに、学校・保護者・地域との深い信頼と連携の中で、生徒一人一人の「自己実現力」を育む。

各部運営目標

(1) 教務部

1 目標

多様な社会での対応力や、個々の主体的に生きる力を育むために、学習指導要領をもとに教材研究、指導方法の工夫、拡充を図る。

2 重点目標

- ① シラバス、年間指導計画を作成し、観点別評価に対応できるよう、指導内容、評価方法について生徒に理解させ、円滑な授業体制を確立させる。
- ② 研究授業や公開授業を通して生徒が常に考え続ける授業ができるように工夫する。
- ③ 教師自身が専門的な知識や技術を習得するために、各種研修会に積極的に参加する。
- ④ 家庭学習が定着するように課題を出し、遅れがちな生徒に対しては、個別に指導する。
- ⑤ LHRや総合的な探究の時間を通して人間の尊厳について理解し、それを生活の中に生かせるようにする。
- ⑥ 科やコースごとの特色を出すように、検定や資格の取得に引き続き努めさせる。
- ⑦ めまぐるしい国際化や情報化に対応できるように、体系的な ICT 教育に努め、情報活用能力を育成する。
- ⑧ 生徒一人一人が自らの生き方を考え、主体的に進路を選択できるように、計画的・組織的・継続的な指導に努める。
- ⑨ 各行事を通して、互いの個性を認め合い、協力して物事を達成する充実感を覚えさせ、自主的・実践的な姿勢を持つように育成する。
- ⑩ 文書保存年限一覧に基づいて文書整理を徹底する。
- ⑪ 校務支援システムの活用方法について提示し、業務の効率化を図る。
- ⑫ 教育活動を積極的に情報発信することで、家庭・地域への説明責任を果たし、相互に信頼・協力する体制の構築を目指す。
- ⑬ 各分掌・学年との連携を徹底し、目標・目的を持った計画的な教育活動に取り組む。
- ⑭ 高大一貫教育を踏まえて地域や系列校と積極的な交流を推進し、生徒に多くの経験を積ませる。

(2) 図書部

1 目標

- 読書の推進を図る。
- 図書室の整備に努める。
- 図書委員会の活動の充実を図る。
- 文芸作品への取り組みと各作品展への出品を活発にし、生徒の言語文化に対する意識を高めるとともに言語感覚を磨き語彙力を身に付ける。

2 重点目標

- 朝読書を励行し、生徒が多様な文章や考え方に触れたり、作品世界を読み味わったりする機会を日々持つ。
- 図書委員会の活動を増やし、生徒自身が行える業務は生徒に任せ、主体的に図書室運営をしようとする意欲を醸成する。
- 委員会活動を活用して図書室の整理整頓、環境整備を行う。
- 事務部と連携し、蔵書管理を適切に行う。
- 生徒の実態と、地域の要請に対応した作品展を中心に、生徒が興味・関心を持って取り組めるような作品展への参加を計画・実施する。

(3) 進路指導部

1 目 標

変化の激しい社会において、生徒一人一人の進路希望を達成させるため、それぞれの能力や適性などを把握し、計画的に進路指導に努める。

2 重点目標

- ① 各学年と連携を取り、3年間を見通した進路指導計画を立案・実施する。
- ② 日常の学習活動や生活指導を通して、進路に対する自覚を促し、生徒が主体的に行動できるように努める。
- ③ 学年に応じた職業観・勤労観を育成する。そのために、インターンシップや企業見学、地域のボランティア活動などに積極的に参加させ、自らの将来の職業に対する意識を高め、社会に貢献できる人材の育成に努める。
- ④ 高大一貫教育を踏まえ、系列校と積極的な交流を推進し、生徒に多くの経験を積ませる。
- ⑤ 保護者向けの啓発活動を実施し、保護者との綿密な連携を取り、適切な情報をもとに進路指導に努める。

(4) 生徒指導部

1 目 標

生徒は自己の人格を完成に近づけ、人類社会の有為な人となるため、学校生活を通して、その基礎を築き上げるよう努力する。

- 生徒は常に学校教育の本旨のもとに全体の中の1人であることを忘れず、柴田学園大学附属柴田学園高等学校の生徒であるという自覚を持つ。
- 自己を理解し、「自分のことは自分です」という態度と習慣を身に付けるよう心がける。
- 正しい服装と気持ちの良い態度、そして言葉づかいに気をつける。
- 協力とゆずり合うことの尊さを集団生活の中で自ら体得する。

2 重点目標

子どもたちが主役となる丁寧な生徒指導を心がける。

- ① 制服を正しく着用し、容姿は自然であるように指導する。
- ② 規則正しい生活習慣の定着や挨拶の励行を促す。
- ③ 公共のルール・マナーを遵守させる。
- ④ 交通のルール・マナーを遵守させる。
- ⑤ スマートフォン・携帯電話等の使用について、ルール・マナーを遵守させる。
- ⑥ いじめの未然防止・早期発見に向け、学校全体が一丸となって楽しい学校づくりに取り組む。

また、いじめ対策委員会や各学年、授業の担当者との連携を取り、教職員全体で生徒の情報交換を密にする。

(4-2) 生徒会

1 目 標

生徒会会則にあるように、学園の建学の精神である「教育即生活」を目指し、充実した学校生活を確立できるように、学校行事を企画実行する。

また、柴田学園高等学校の生徒であるという自覚と誇りを持てるように生徒の自主性を高め、社会性豊かな人間を育てることを目指す。

さらに、複雑化・多様化・グローバル化した現代社会の中で、主体的・探究的に物事に取り組む態度を養う。

以上の目標実現へ向けて、生徒会役員を中心に生徒が自主的に活動するように働きかけていく。

2 重点目標

- ① 各行事の準備を計画的に行う。
- ② 挨拶運動を行い、挨拶のできる人間を育てる。
- ③ 柴高祭・校内総体などの行事を通じて、自分の役割・責任を自覚し果たせる人間を育てる。
- ④ 部活動への積極的な参加を勧め、何事にも自分から取り組む姿勢を身に付けさせる。
- ⑤ 行事などを通して自己実現を経験させ、「生きる意欲」と自分の能力を社会に生かす方法を考える機会を与える。
- ⑥ 地域に愛される高等学校としての役割を果たし、生徒の人間力向上に努める。

(5) 環境保健相談部

1 目 標

- ① 学校生活において、生徒の生命の安全を最優先させる。
- ② 生命の大切さ、健康の大切さを考えさせる。
- ③ 校内外の清掃活動を通じて、責任と協働を学ばせ、環境保護の重要性と美化意識を持たせる。
- ④ 物を大切に扱い、3Rを実践させる。
- ⑤ スクールカウンセラー・面談等を通して生徒理解に努める。

2 重点目標

- ① 地震・火事等による避難対策を確立し、訓練を通して、非常時に対応ができるように意識を高める。
- ② 毎日の健康観察において自身の健康のため、集団の健康のために適切な行動選択ができるよう指導する。
- ③ クリーン作戦等の行事を通して、校内および地域の環境美化に意欲を持って取り組み、奉仕活動への意識や喜びを体感させる。また、委員会活動や日常の清掃活動を通して、責任、勤労の価値観、協働、思いやり、健康安全管理の視点を養う。
- ④ 廃棄物の処理やごみの分別、リサイクル活動、清掃など、自らの体験を通して掃除の重要性を学ぶ。
- ⑤ 生徒指導部やカウンセラーと連携し、合理的配慮をする。

(6) 事 務 部

目 標

- ① 予算の適正な管理と無駄な経費の削減。
- ② 日常業務の確実な実行（出納業務・補助金申請・営繕など）。
- ③ 来訪者や生徒・保護者への親切丁寧な対応。
- ④ 教職員間の連携および情報共有と「見える化」。
- ⑤ 開かれた学校・風通しの良い職場づくりの推進（法令遵守と説明責任）。
- ⑥ 危機管理の徹底、安全点検の強化。
- ⑦ 管理職への「ホウレンソウ」の徹底。
- ⑧ 事務作業の効率化、マニュアル化、見える化、ミスの削減。
- ⑨ 部署内の連携及び協働、保護者・地域との連携及び協働。
- ⑩ 職場環境の適正化と整理整頓。

各 学 年 経 営 案

(1) 第1学年

1 学年目標

- ① 高校生としての自覚を持たせ、個性豊かな人間育成を目指す。
- ② 基本的生活習慣を身に付けさせ、社会へ適応しうる人材の育成を目指す。
- ③ 学校生活の様々な場面を通して協調性を身に付けさせ、他者の立場に立てる優しさを養う。
- ④ 進路決定のために自らが積極的に取り組めるよう、個々の適性を見極め、適切な指導を行う。

2 指導の重点

(1) 学習

- ① 集中して授業を受ける姿勢を身に付けさせる。
- ② 家庭学習の定着に努める。
- ③ 授業担当者との連携を密にし、個々の学力・目標に応じた指導を行う。
- ④ 静かな朝読書の奨励と定着に努める。

(2) 生活

- ① 基本的な生活習慣の確立を目指し、遅刻・欠席のない学校生活を身に付けさせる。
- ② 校内外での正しいスマートフォンの使い方を身に付けさせる。
- ③ 本校生としての正しい制服の着用を遵守させ、品性と教養を身に付けさせる。
- ④ 学校行事や部活動に積極的に参加させ、楽しく有意義な学校生活を送れるよう努める。
- ⑤ 校内外での挨拶や礼儀の励行に努める。

(3) 進路

- ① 個々の能力や適性を早期に把握し、的確に指導を行う。
- ② 進路指導部との連携を密にし、進路ガイダンスや見学会への積極的な参加を促す。
- ③ 2年次のコース選択を視野に入れ、面談を積極的に行い、進路実現に向けて指導を行う。
- ④ 各種検定に積極的に挑戦するよう指導を行う。

(2) 第2学年

1 学年目標

- ① 規則を守る生徒の育成
- ② 挨拶・返事ができる生徒の育成
- ③ 他者を尊重できる生徒の育成
- ④ 自分の将来を真剣に考えることができる生徒の育成

2 指導の重点

- ① 校則をはじめとした社会のルールをきちんと理解できるよう指導する。
朝読書、授業等の開始時刻にはきちんと着席した状態で準備させる。
2学年として、1学年の模範となる態度で学校生活を送るよう指導する。
最大の学校行事である修学旅行を無事に成功させられるよう指導する。
- ② 校内外問わず、挨拶を励行し、授業や生徒指導の場面において返事をするよう指導する。
- ③ 世の中も学校も、いろいろな個性や考え方を持つ人々で構成されていることを理解させ、学校生活の様々な機会を通して、他者を尊重する態度を育む。
- ④ 分からないことが悪いわけではなく、分からないことを放っておくことが悪いことを伝える。
真摯な態度で授業に臨み、家庭学習が習慣になるよう促す。
進路指導部主催の各行事を通して、早期に自分の進路を考えさせる。

(3) 第3学年

1 学年目標

- ① 最上級生としての自覚を持たせ、他の模範となる人間育成を目指す。
- ② 何事にも積極的にチャレンジさせ、豊かで柔軟性のある人材の育成を目指す。
- ③ 学校生活の様々な場面を通して協調性を身に付けさせ、他者の立場に立てる優しさを養う。
- ④ 進路決定のために自らが積極的に取り組めるよう、生徒一人一人の特性を把握し、適切な指導を行う。
- ⑤ 生徒個々の生活環境を十分考慮し、慎重かつ丁寧な指導を心がける。

2 指導の重点

(1) 学習

- ① 授業を大切にし、進路に関わらず卒業まで意欲的に学習する態度を養う。
- ② 授業担当者との連携を密にし、個々の学力・目標に応じた指導を行う。
- ③ 静かな朝読書を推進し、知識と教養を養う。
- ④ 個性を尊重し、一人一人の進路に合わせた学習指導を行う。

(2) 生活

- ① 時間厳守を基本とし、遅刻・欠席のない学校生活を身に付けさせる。
- ② 正しい制服の着用を遵守させ、品性と教養を身に付けさせる。
- ③ 校内外での言葉遣い・挨拶・礼儀の励行に努める。
- ④ 最高学年として、後輩に対して思いやりをもって接するよう努める。

(3) 進路

- ① 個性を尊重し、一人一人の進路に合った指導を行う。また、三者面談をはじめ、面談を積極的に行いながら進路実現を目指す。
- ② 進路指導部との連携を密にし、進路ガイダンスやオープンキャンパス、職場見学への積極的な参加を促す。
- ③ 関係教科担当と協力し、各種検定に積極的に挑戦するよう促す。

(4) 家庭との連携

- ① 家庭との連絡を密にし、情報共有して相互理解に努める。
- ② 定期的に学年通信や学級通信を発行する。

6 令和6・7年度入学生教育課程表

普 通 教 育 に 関 す る 各 科 目	教 科	科 目	標 準 単 位	必 修	普通科・ 家政科・ 情報科	普 通 科						家 政 科						情 報 科				
						みらい創造コース				総合進学コース		三冠王コース			調理師コース			IT・ビジネスコース				
						1年	2年	3年	計	2年	3年	計	2年	3年	計	2年	3年	計	2年	3年	計	
	国 語	現 代 の 国 語	2	2	2				2				2				2				2	
		言 語 文 化	2	2	2				2				2				2				2	
		論 理 国 語	4				2	3	5	2	1	3	2	3	5				2	3	5	
		文 学 国 語	4				1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	
		古 典 探 究	4							2	△4	△6 (2)										
		論理基礎（学校設定科目）		-												2		2				
	地 歴	地 理 総 合	2	2	2				2				2				2				2	
		地 理 探 究	3				3		3		◎3	◎3 (0)										
		歴 史 総 合	2	2			2		2	2		2	2			2	2	2	2	2	2	
		日 本 史 探 究	3					3	3		◎3	◎3 (0)		3	3							
	公 民	公 共	2	2	2				2				2				2				2	
		倫 理	2					2	2		☆2	☆2 (0)										
		政 治 ・ 経 済	2					3	3		3	3		2	2					2	2	
	数 学	数 学 I	3	減2可	3				3				3				3				3	
		数 学 II	4				2	2	4	4			4	2	2	4				2	2	4
		数 学 III	3								△4	△4 (0)										
		数 学 A	2		2				2				2			2					2	
		数 学 B	2				2		2	2			2						2		2	
		数 学 C	2								☆2	☆2 (0)										
		数学基礎(学校設定科目)		-												1	1	2				
	理 科	化 学 基 礎	2	※2	2				2				2			2			2			2
		化 学	4							2	2		4									
		生 物 基 礎	2	※2			2		2	2			2	2		2	2		2	2	2	
		生 物	4								□4	□4 (0)										
		物 理 基 礎	2	※2				2	2	2			2		2	2		2	2		2	
物 理	4								□4	□4 (0)												
保 体	体 育	7～8	7～8	3	2	2	7	2	2		7	2	2	7	2	2	7	2	2	7		
	保 健	2	2	1	1		2	1			2	1		2			1	1		2		
芸 術	音 楽 I	2	※2	1	1		2	1			2	1		2	1		2	1		2		
	音 楽 II	2				▲1	1 (0)															
	ピアノ基礎（学校設定科目）		-			■2		■2 (0)														
	書 道 I	2	※2		1	▲1	2 (1)															
外 国 語	英語コミュニケーションⅠ	3	減2可	3				3				3			3					3		
	英語コミュニケーションⅡ	4				2	2	4	4			4	2	2	4	2	2	4	2	2	4	
	英語コミュニケーションⅢ	4								4		4										
	論 理 ・ 表 現 Ⅰ	2		2				2				2			2					2		
	論 理 ・ 表 現 Ⅱ	2							1	1	2											
家 庭	家 庭 基 礎	2	2	2				2				2			2					2		
	茶道(学校設定科目)	-					1	1										1	1			
情 報	情 報 Ⅰ	2	2	2				2				2			2					2		
	IT活用基礎（学校設定科目）		-			■2		■2 (0)														
	情報実務実習(学校設定科目)		-				2		2													
専 門 教 育 に 関 す る 各 教 科 ・ 科 目	商 業	簿 記	2～4				2		2													
		生 活 産 業 基 礎	2	2									2		2	2		2				
	家 庭	課 題 研 究	2～4	2～4									1	3	4	1	2	3				
		保 育 基 礎	2～6				■2	2	■4 (2)													
		生 活 と 福 祉	2～4					2	2													
		ファッション造形基礎	2～6										5			5						
		ファッション造形	4～10											5		5						
		服 飾 手 芸	2～6										3			3						
		フ ー ド デ ザ イ ン	2～6										3	3	6							
		食 文 化	1～2	厚1～2				1	1									1	1			
		調 理（理論）	14	厚14 実5 実9												3	2	5				
		調 理（実習）														3	6	9				
		栄 養	3	厚3												2	1	3				
		食 品	2	厚2												1	1	2				
		食 品 衛 生		厚5 実1												2	2	4				
		食 品 衛 生（実習）	5													1		1				
		公 衆 衛 生	3	厚3												3		3				
		総 合 調 理 実 習	3	厚3													3	3				
	情 報	情 報 産 業 と 社 会	2～4	2～4															3		3	
		課 題 研 究	2～4	2～4																4	4	
		情 報 の 表 現 と 管 理	2～4																2		2	
		情 報 テ ク ノ ロ ジ ー	2～4																2	1	3	
		情 報 セ キ ュ リ テ ィ	2～6																2		2	
		デ ー タ ベ ー ス	2～6																	2	2	
		情 報 デ ザ イ ン	2～6																	2	2	
情 報 実 習		4～8																3	4	7		
総合的な探究の時間			3～6	3～6 減2可	-	※3	1	※4	※2	1	※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
学校外学修・校外講座			-				0～4	0～4	0～4	0～4	0～4	0～4	0～4	0～4	0～4	0～4	0～4	0～4	0～4	0～4		
科目単位合計					29	30 ～ 34	29 ～ 33	88 ～ 92	30 ～ 34	29 ～ 33	88 ～ 92	29 ～ 33	29 ～ 33	87 ～ 91	29 ～ 33	29 ～ 33	87 ～ 91	29 ～ 33	29 ～ 33	87 ～ 91		
ホームルーム（時間）					35	35	35	105	35	35	105	35	35	105	35	35	105	35	35	105		

※家政科、情報科の「総合的な探究の時間」は「課題研究」、調理師コースの「保健」は「公衆衛生」の一部で代替する。

※みらい創造コースは■内で2単位、▲内で1単位を選択する。

※◎・△・☆・□内で選択科目とする。

令和 8 年度入学生教育課程表

普 通 教 育 に 関 与 す る 各 科 目	教 科	科 目	標 準 単 位	必 修	普通科・ 家政科・ 情報科	普 通 科						家 政 科						情 報 科						
						みらい創造コース				総合進学コース		ライフデザインコース			調理師コース			IT・ビジネスコース						
						1年	2年	3年	計	2年	3年	計	2年	3年	計	2年	3年	計	2年	3年	計			
	国 語	現 代 の 国 語	2	2	2			2			2			2			2			2			2	
		言 語 文 化	2	2	2			2			2			2			2			2			2	
		論 理 国 語	4				2	3	5	2	1	3	2	3	5				2	3	5			5
		文 学 国 語	4				1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3			3
		古 典 探 究	4							2	△ 4	△ 6 (2)												
		論理基礎（学校設定科目）		-												2		2						
	地 歴	地 理 総 合	2	2	2			2			2			2			2			2			2	
		地 理 探 究	3				3		3		◎ 3	◎ 3 (0)												
		歴 史 総 合	2	2			2		2	2		2	2			2		2	2	2			2	
		日 本 史 探 究	3					3	3		◎ 3	◎ 3 (0)		3	3									
	公 民	公 共	2	2	2			2			2			2			2			2			2	
		倫 理	2					2	2		☆ 2	☆ 2 (0)												
		政 治 ・ 経 済	2					3	3			3	3		2	2						2	2	
	数 学	数 学 I	3	減 2 可	3				3			3			3			3			3			3
		数 学 II	4				2	2	4	4		4	2	2	4					2	2		4	
		数 学 III	3								△ 4	△ 4 (0)												
		数 学 A	2		2				2			2			2			2					2	
		数 学 B	2				2		2	2		2								2			2	
		数 学 C	2								☆ 2	☆ 2 (0)												
		数学基礎(学校設定科目)		-												1	1	2						
	理 科	化 学 基 礎	2	※ 2	2				2			2			2			2			2			2
		化 学	4							2	2	4												
		生 物 基 礎	2	※ 2			2		2	2		2	2		2	2		2	2	2	2		2	
		生 物	4								□ 4	□ 4 (0)												
		物 理 基 礎	2	※ 2				2	2	2			2		2	2		2	2			2	2	
保 体	物 理	4								□ 4	□ 4 (0)													
	体 育	7～8	7～8	3		2	2	7	2	2	7	2	2	7	2	2	7	2	2	7	2	2	7	
	保 健	2	2	1		1		2	1		2	1		2			1	1		2				
芸 術	音 楽 I	2	※ 2	1		1		2	1		2	1		2	1		2	1		2			2	
	音 楽 II	2					▲ 1	1 (0)																
	ピアノ基礎（学校設定科目）		-			■ 2		■ 2 (0)																
	書 道 I	2	※ 2			1	▲ 1	2 (1)																
外 国 語	英語コミュニケーション I	3	減 2 可	3				3			3			3			3			3			3	
	英語コミュニケーション II	4				2	2	4	4		4	2	2	4	2	2	4	2	2	4	2	2	4	
	英語コミュニケーション III	4								4	4													
	論 理 ・ 表 現 I	2		2				2			2			2			2					2		
	論 理 ・ 表 現 II	2							1	1	2													
家 庭	家 庭 基 礎	2	2	2				2			2			2			2			2			2	
	茶道(学校設定科目)		-				1	1												1	1			
	情 報	2	2	2				2			2			2			2			2			2	
情 報	IT活用基礎（学校設定科目）		-			■ 2		■ 2 (0)																
	情報実務実習(学校設定科目)		-			2		2																
専 門 教 育 に 関 与 す る 各 教 科 ・ 科 目	商 業	簿 記	2～4				2		2															
		生 活 産 業 基 礎	2	2									2		2	2		2						
	家 庭	課 題 研 究	2～4	2～4									1	2	3	1	2	3						
		保 育 基 礎	2～6				■ 2	2	■ 4 (2)															
		生 活 と 福 祉	2～4					2	2															
		ファッション造形基礎	2～6										2			2								
		ファッション造形	4～10											4		4								
		ファッションデザイン	2～6										6	2		8								
		フ ー ド デ ザ イ ン	2～6										3	3		6								
		食 文 化	1～2	厚 1～2				1	1									1	1					
		調 理 （ 理 論 ）	1 4	厚 1 4 実 5 実 9														3	2	5				
		調 理 （ 実 習 ）																3	6	9				
		栄 養	3	厚 3														2	1	3				
		食 品	2	厚 2														1	1	2				
		食 品 衛 生	5	厚 5 実 1														2	2	4				
		食 品 衛 生 （ 実 習 ）																1		1				
		公 衆 衛 生	3	厚 3														3		3				
		総 合 調 理 実 習	3	厚 3															3	3				
	情 報	情報産業と社会	2～4	2～4																	3		3	
		課 題 研 究	2～4	2～4																		4	4	
		情報の表現と管理	2～4																		2		2	
		情報テクノロジー	2～4																		2	1	3	
		情報セキュリティ	2～6																		2		2	
		デ ー タ ベ ー ス	2～6																			2	2	
		情 報 デ ザ イ ン	2～6																			2	2	
	情 報 実 習	4～8																		3	4	7		
総合的な探究の時間			3～6	3～6 減 2 可	-	※ 3	1	※ 4	※ 2	1	※ 3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
学校外必修			-				0～4	0～4	0～4	0～4	0～4	0～4	0～4	0～4	0～4	0～4	0～4	0～4	0～4	0～4	0～4	0～4		
科目単位合計					2 9	3 0 ～ 3 4	2 9 ～ 3 3	8 8 ～ 9 2	3 0 ～ 3 4	2 9 ～ 3 3	8 8 ～ 9 2	2 9 ～ 3 3	2 9 ～ 3 3	8 7 ～ 9 1	2 9 ～ 3 3	2 9 ～ 3 3	8 7 ～ 9 1	2 9 ～ 3 3	2 9 ～ 3 3	8 7 ～ 9 1				
ホームルーム（時間）					3 5	3 5	3 5	105	3 5	3 5	105	3 5	3 5	105	3 5	3 5	105	3 5	3 5	105	3 5	105		

※家政科、情報科の「総合的な探究の時間」は「課題研究」、調理師コースの「保健」は「公衆衛生」の一部で代替する。

※みらい創造コースは■内で2単位、▲内で1単位を選択する。

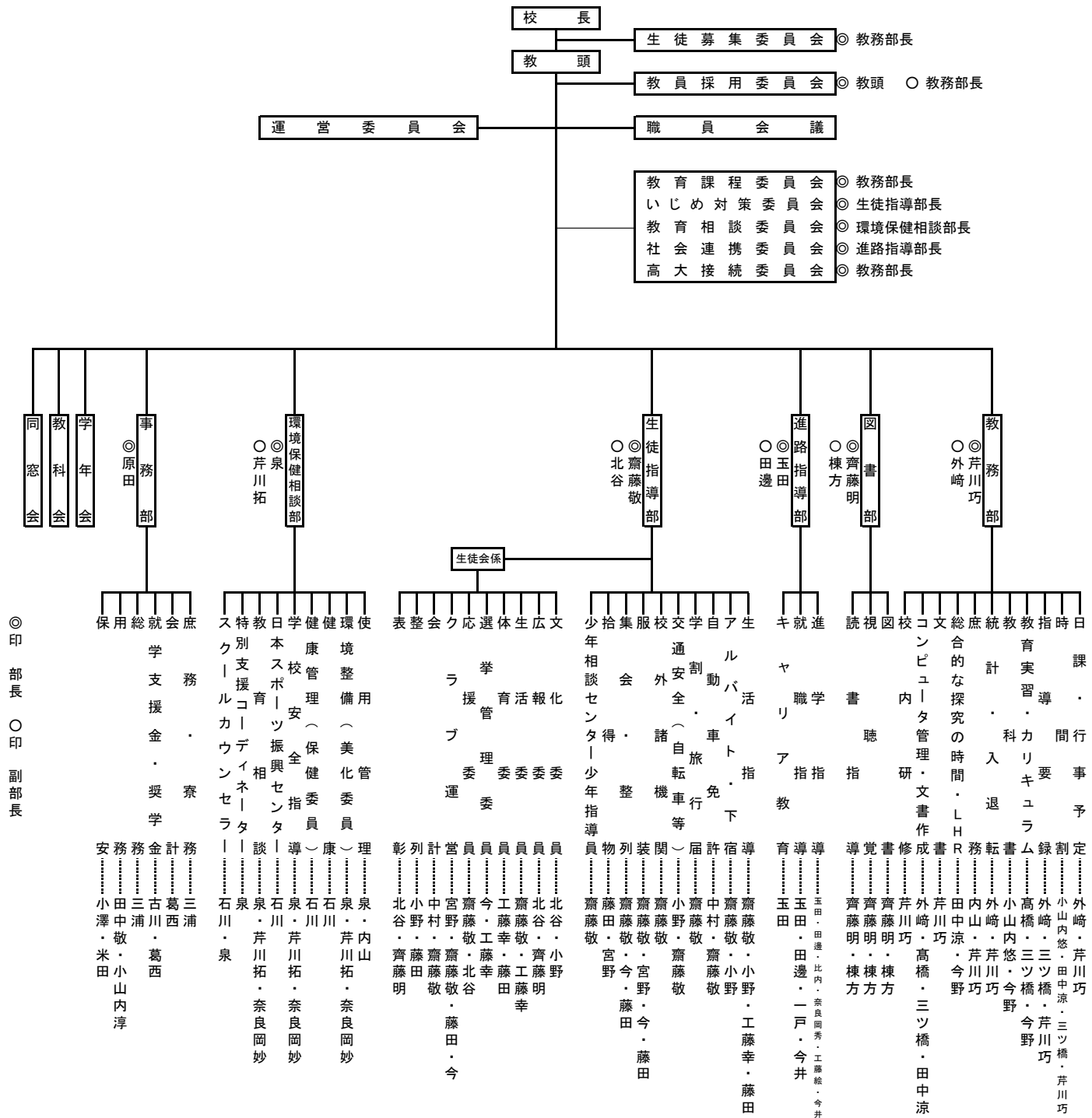
※◎・△・☆・□内で選択科目とする。

7 令和8年度 使用教科書一覧表

科 目	学 年	教 科 書	出 版 社
現 代 の 国 語	1	新編 現代の国語 改訂版	大 修 館
言 語 文 化	1	新編 言語文化 改訂版	大 修 館
論 理 国 語	2・3	新編 論理国語	大 修 館
文 学 国 語	2・3	新編 文学国語	大 修 館
古 典 探 究	2・3	新編古典探究	東 書
論 理 基 礎	2	新編 論理国語	大 修 館
地 理 総 合	1	高等学校 改訂版 地理総合 世界を学び、地域をつくる	第 一
地 理 探 究	2・3	地理探究	東 書
地 理 探 究	2・3	標準高等地図	帝 書
歴 史 総 合	2・3	わたしたちの歴史 日本から世界へ 改訂版	山 川
日 本 史 探 究	3	日本史探究	東 書
公 共	1	改訂版 私たちの公共	清 水
倫 理	3	高等学校 倫理	第 一
政 治 ・ 経 済	3	高等学校 政治・経済	第 一
数 学 I	1	改訂版 最新 数学 I	数 研
数 学 II	2	新編 数学 II	数 研
数 学 II	2・3	高校数学 II	実 教
数 学 II	2・3	最新 数学 II	数 研
数 学 III	3	新編 数学 III	数 研
数 学 A	1	改訂版 最新 数学 A	数 研
数 学 B	2	新編 数学 B	数 研
数 学 B	2	高校数学 B	実 教
数 学 B	2	最新 数学 B	数 研
数 学 C	3	新編 数学 C	数 研
数 学 基 礎	2・3	高校数学 II	実 教
化 学 基 礎	1	改訂 新編化学基礎	東 書
化 学	2・3	化学	実 教
生 物 基 礎	2	i版 生物基礎 改訂版	啓 林 館
生 物	3	高等学校 生物	啓 林 館
物 理 基 礎	2・3	改訂 新編物理基礎	東 書
保 健	1	現代高等保健体育 改訂版	大 修 館
保 健	2	現代高等保健体育	大 修 館
音 楽 I	1・2	MOUSA 1	教 芸
音 楽 II	3	MOUSA2	教 芸

科 目	学 年	教 科 書	出 版 社
書 道 I	2	書 I	光 村
書 道 I	3	書道 I	東 書
英語コミュニケーション I	1	VISTA English Communication I New Edition	三 省 堂
論 理 ・ 表 現 I	1	VISTA Logic and Expression I	三 省 堂
英語コミュニケーション II	2	VISTA English Communication II	三 省 堂
英語コミュニケーション II	2	Power On English Communication II	東 書
英語コミュニケーション II	3	All Aboard! English Communication II	東 書
英語コミュニケーション III	3	Power On English Communication III	東 書
論 理 ・ 表 現 II	2・3	APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION II	開 隆 堂
家 庭 基 礎	1	Creative Living「家庭基礎」で生活をつくろう 改訂版	大 修 館
茶 道	3	学校茶道 初級編	今 日 庵
生 活 産 業 基 礎	2	生活産業基礎	実 教
保 育 基 礎	2・3	保育基礎 ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ	教 図
生 活 と 福 祉	3	生活と福祉	実 教
ファッション造形基礎	2	ファッション造形基礎	実 教
フ ー ド デ ザ イ ン	2・3	フードデザイン	実 教
食 文 化	3	第4巻 調理理論と食文化概論	全 調 協
調 理 (理 論)	2・3	第4巻 調理理論と食文化概論	全 調 協
栄 養	2・3	第2巻 食品と栄養の特性	全 調 協
食 品	2・3	第2巻 食品と栄養の特性	全 調 協
食 品 衛 生	2・3	第3巻 食品の安全と衛生	全 調 協
食 品 衛 生 (実 習)	2	第3巻 食品の安全と衛生	全 調 協
公 衆 衛 生	2	第1巻 食生活と健康	全 調 協
情 報 I	1	図説情報 I 新訂版	実 教
簿 記	2	新簿記 新訂版	実 教
情 報 産 業 と 社 会	2	ビジネス基礎 新訂版	実 教

8 令和8年度 学校運営組織



各 教 科 主 任

国語棟方愛	地歴公民	三ツ橋八十誉	数 学	中村友是	理 科	内山清人	保健体育	工藤幸太
芸術工藤絵美	外国語	奈良岡秀一	家 庭	奈良岡妙子	情 報	外崎 仁	総合探究	田中涼子・今野歩

各 学 年 主 任

第1学年	工藤幸	第2学年	奈良岡秀	第3学年	田邊由佳子
------	-----	------	------	------	-------

運 営 委 員 会	・・・校長、教頭、事務長、各部長、各学年主任
生徒募集委員会	・・・教務部長、放送部顧問、小山内、北谷、外崎、奈良岡妙
教育課程委員会	・・・教務部長、各教科主任
いじめ対策委員会	・・・校長、教頭、生徒指導部長、各学年主任、特別支援コーディネーター、養護教諭、(スクールカウンセラー)、構成員として必要と認めた者
教育相談委員会	・・・環境保健相談部長、生徒指導部長、各学年主任、特別支援コーディネーター、養護教諭、(教頭)、(スクールカウンセラー)、当該担任
社会連携委員会	・・・進路指導部長、教務部長、各学年主任
高大接続委員会	・・・教務部長、進路指導部長、各学年主任
総合的な探究の時間	・・・教務探究担当、キャリア教育担当、各学年担当、地歴公民科主任、家庭科主任、情報科主任、(教務部長)、(進路指導部長)
総 務 窓	・・・中道、泉、玉田、北谷、齊藤明、三浦

9 令和8年度 年間行事予定表

月	曜	日	月	火	水	木	金	土	備考
4	1	29	30	31	1	2	3	4	
	2	5	6	7	8	9	10	11	
	3	12	13	14	15	16	17	18	
	4	19	20	21	22	23	24	25	
5	5	26	27	28	29	30	1	2	
	6	3	4	5	6	7	8	9	
	7	10	11	12	13	14	15	16	
	8	17	18	19	20	21	22	23	
6	9	24	25	26	27	28	29	30	
	10	31	1	2	3	4	5	6	
	11	7	8	9	10	11	12	13	
	12	14	15	16	17	18	19	20	
7	13	21	22	23	24	25	26	27	
	14	28	29	30	1	2	3	4	
	15	5	6	7	8	9	10	11	
	16	12	13	14	15	16	17	18	
8	17	19	20	21	22	23	24	25	
	18	26	27	28	29	30	31	1	
	19	2	3	4	5	6	7	8	
	20	9	10	11	12	13	14	15	
9	21	16	17	18	19	20	21	22	
	22	23	24	25	26	27	28	29	
	23	30	31	1	2	3	4	5	
	24	6	7	8	9	10	11	12	
10	25	13	14	15	16	17	18	19	
	26	20	21	22	23	24	25	26	
	27	27	28	29	30	1	2	3	
	28	4	5	6	7	8	9	10	
11	29	11	12	13	14	15	16	17	
	30	18	19	20	21	22	23	24	
	31	25	26	27	28	29	30	31	
	32	1	2	3	4	5	6	7	
12	33	8	9	10	11	12	13	14	
	34	15	16	17	18	19	20	21	
	35	22	23	24	25	26	27	28	
	36	29	30	1	2	3	4	5	
1	37	6	7	8	9	10	11	12	
	38	13	14	15	16	17	18	19	
	39	20	21	22	23	24	25	26	
	40	27	28	29	30	31	1	2	
2	41	3	4	5	6	7	8	9	
	42	10	11	12	13	14	15	16	
	43	17	18	19	20	21	22	23	
	44	24	25	26	27	28	29	30	
3	45	31	1	2	3	4	5	6	
	46	7	8	9	10	11	12	13	
	47	14	15	16	17	18	19	20	
	48	21	22	23	24	25	26	27	
4	49	28	1	2	3	4	5	6	
	50	7	8	9	10	11	12	13	
	51	14	15	16	17	18	19	20	
	52	21	22	23	24	25	26	27	
5	53	28	29	30	31	1	2	3	

2026年度 曜日毎出席日数 [1年191(192)日、2年191(192)日、3年171(184)日]

学期	曜日	月			火			水			木			金			土			日		
		1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
1	学 期	13	14	14	13	12	12	13	13	13	15	15	15	15	15	15	0	0	0	0	0	0
2	学 期	15	15	15	15	15	15	15	15	15	17	17	17	18	18	18	1	1	1	1	1	1
3	学 期	9	9	3(7)	8	8	4(7)	8	8	4(7)	7	7	4(5)	8(9)	8(9)	5(7)	0	0	0	0	0	0
	合 計	37	38	32(36)	36	35	31(34)	36	36	32(35)	39	39	36(37)	41(42)	41(42)	38(40)	1	1	1	1	1	1

※火曜日の授業1回

注)年間行事予定表により計算。一部授業日を含む。

10 職員の状況

(1) 教職員数

職名 性別	校長	教頭	教諭	司書 教諭	実習 講師	非常勤 講師	養護 教諭	事務 職員	用務員	保安員	学校医	薬剤師	合計
男		1	13		1	4		1	1	2	3	1	27
女	1		13	(1)	2	8	1	3	1		1		30
合計	1	1	26	(1)	3	12	1	4	2	2	4	1	57

(2) 教職員一覧

職名	氏名	担当教科	校務分掌
校長	芦野 佐由利		
教頭	山内 直樹	外国語（論理・表現Ⅰ）	
教諭	宮野 洋子	家庭（生活産業基礎，課題研究，ファッション造形，調理理論，食品衛生，食品衛生実習）	生徒指導部（204）
〃	齋藤 敬一	数学（数学A，数学B）	生徒指導部長
〃	小野 尚樹	商業（簿記） 情報（情報実務実習，情報産業と社会，課題研究）	生徒指導部
〃	高橋 千恵子	理科（化学基礎，化学，生物基礎）	教務部（201）
〃	中村 友是	数学（数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学C，数学基礎）	生徒指導部（305）
〃	棟方 愛	国語（現代の国語，論理国語，文学国語）	図書部（102）
〃	内山 清人	理科（生物基礎，生物，物理基礎）	教務部（環境保健相談部）
〃	工藤 絵美	芸術（音楽Ⅰ，音楽Ⅱ，ピアノ基礎）	進路指導部（103）
〃	田邊 由佳子	国語（論理国語，古典探究）	第3学年主任 進路指導部
〃	芹川 巧	数学（数学Ⅰ）	教務部長
〃	三ツ橋 八十誉	地歴（日本史探究），公民（政治・経済）	教務部（303）
〃	奈良岡 妙子	家庭（家庭基礎，生活と福祉，服飾手芸，食文化，栄養，食品衛生）	環境保健相談部（104）
〃	工藤 幸太	保体（体育）	第1学年主任 生徒指導部
〃	一戸 剛史	情報（情報の表現と管理，情報テクノロジー，情報セキュリティ，情報実習）	進路指導部（205）
〃	泉 尋美	家庭（家庭基礎，保育基礎，公衆衛生），総合的な探究	環境保健相談部長
〃	奈良岡 秀一	外国語（英語コミュニケーションⅡ 論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ）	第2学年主任 進路指導部
〃	玉田 麻実	国語（文学国語，古典探究，論理基礎）	進路指導部長
〃	北谷 友映	保体（体育，保健）	生徒指導部・生徒会主任
〃	田中 涼子	家庭（課題研究，ファッション造形基礎，調理理論，栄養，食品）	教務部（304）
教諭（司書教諭）	齊藤 明菜	地歴（歴史総合）	図書部長 （生徒指導部・生徒会）
教諭	今 正之	数学（数学Ⅱ，数学B，数学基礎）	生徒指導部（203）
〃	小山内 悠祥	地歴（地理総合，日本史探究）	教務部（101）
〃	藤田 憲嗣	保体（体育，保健）	生徒指導部
〃	芹川 拓人	公民（公共，倫理）	環境保健相談部（301）

職 名	氏 名	担 当 教 科	校 務 分 掌
教 諭	比 内 悦 子	外国語（英語コミュニケーションⅡ， 英語コミュニケーションⅢ， 論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ）	進路指導部（302）
〃	今 野 歩	地歴（地理探究）公民（政治・経済）	教務部（202）
養護教諭	石 川 恵		環境保健相談部（保健室）
実習講師	中 道 弘 子	家庭（課題研究，調理実習，総合調理実習）	
〃	今 井 美和子	家庭（課題研究，保育基礎，フードデザイン，食文化）	進路指導部
〃	外 崎 仁	情報（情報Ⅰ，IT活用基礎， データベース，情報デザイン）	教務部
非常勤講師	笹 田 留 奈	国語（言語文化，文学国語）	
〃	前 田 洋 海	国語（論理国語，文学国語）	
〃	青 山 富士子	理科（生物基礎）	
〃	櫛 引 康 子	外国語（英語コミュニケーションⅠ）	
〃	正 木 むつみ	外国語（英語コミュニケーションⅠ）	
〃	伊 藤 理 紗	芸術（書道Ⅰ）	
〃	神 山 圭 子	家庭（茶道），総合的な探究	
〃	木 村 康 子	家庭（総合調理実習）	
〃	櫻 庭 一	家庭（調理実習）	
〃	高 橋 宏 之	家庭（調理実習）	
〃	山 口 寿 成	家庭（調理実習）	
〃	細 谷 優 美	情報（情報Ⅰ，情報テクノロジー， データベース，情報デザイン），総合的な探究	
事 務 長	原 田 雄 亮		
事 務 員	古 川 幸 子		
〃	三 浦 沙 紀		
〃	葛 西 洋 子		
用 務 員	田 中 敬 一		
〃	小山内 淳 子		
保 安 員	小 澤 義 勝		
〃	米 田 正 治		
学 校 医 (内 科)	高 橋 英 子		
学 校 医 (耳 鼻 科)	秋 田 三和興		
学 校 医 (眼 科)	松 本 光 生		
学 校 医 (歯 科)	佐 藤 孝 雄		
薬 剤 師	八木橋 雄 一		

11 生徒の状況

(1) 在籍生徒数

学年 科	第 1 学 年		第 2 学 年		第 3 学 年		合 計	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
普通科・家政科・情報科	3 6	9 7					3 6	9 7
普 通 科			1 8	7 7	2 7	6 5	4 5	1 4 2
家 政 科			1 1	1 9	1 1	1 5	2 2	3 4
情 報 科			1 3	1 1	1 7	1 3	3 0	2 4
合 計	3 6	9 7	4 2	1 0 7	5 5	9 3	1 3 3	2 9 7
	1 3 3		1 4 9		1 4 8		4 3 0	

(2) 出身市町村別

学年 地区別	第 1 学 年		第 2 学 年		第 3 学 年		合 計	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
弘 前 市	2 3	5 1	2 3	5 9	3 9	5 5	8 5	1 6 5
平 川 市	1	1 4	4	1 7	1	6	6	3 7
黒 石 市	1	9	1	5	1	3	3	1 7
青 森 市	2	2	2	3	5	2	9	7
五 所 川 原 市	0	1	1	2	1	1	2	4
つ が る 市	0	2	1	1	0	2	1	5
十 和 田 市	0	0	2	3	0	1	2	4

学年 地区別	第 1 学 年		第 2 学 年		第 3 学 年		合 計	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
三 沢 市	0	1	0	0	0	1	0	2
む つ 市	0	0	0	1	0	0	0	1
八 戸 市	0	2	0	2	0	1	0	5
南 津 軽 郡	6	8	1	1 0	3	7	1 0	2 5
北 津 軽 郡	0	1	3	1	5	5	8	7
西 津 軽 郡	1	3	0	0	0	2	1	5
上 北 郡	0	1	1	0	0	2	1	3
そ の 他	2	2	3	3	0	5	5	1 0
合 計	3 6	9 7	4 2	1 0 7	5 5	9 3	1 3 3	2 9 7
	1 3 3		1 4 9		1 4 8		4 3 0	

(3) 通 学 方 法

学年 方法	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年	合 計
鉄 道	4 3	4 4	4 5	1 3 2
バ ス	6	3	2	1 1
自 転 車	7 4	8 0	9 3	2 4 7
徒 歩	7	9	7	2 3
自 家 用 車	3	1 3	1	1 7
合 計	1 3 3	1 4 9	1 4 8	4 3 0

12 卒業生の進路状況

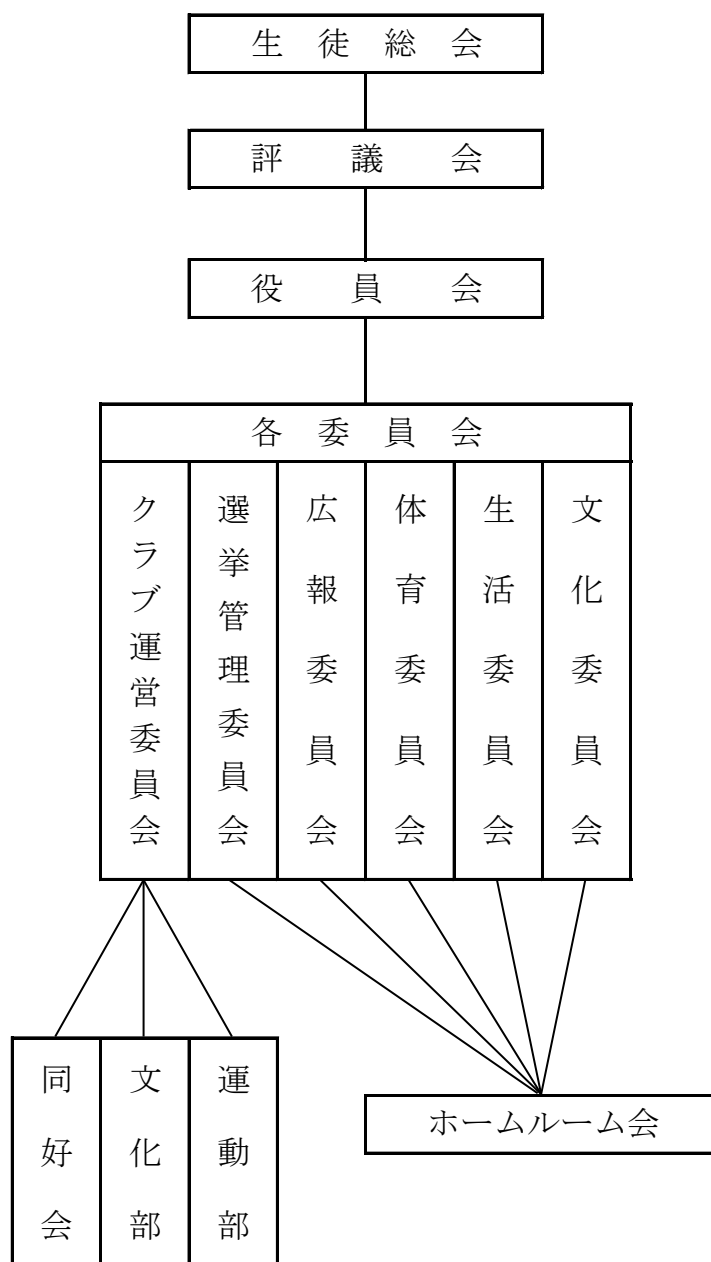
(1) 卒業生累計

年度 科	昭23～平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3		令4		令5		令6		令7		科別計	
	女子	女子	女子	女子	女子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
普通科	10,708	42	42	36	29	21	28	49	29	65	25	44	23	62	30	61	107	11,187
家政科	7,119	29	33	35	45	24	11	37	5	32	6	28	9	33	10	29	30	7,455
情報科	126	28	11	27	18	26	11	12	5	22	8	18	15	20	14	10	42	329
秘書情報科	270	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	270
保育科	957	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	957
衛生看護科	422	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	422
別科	1,335	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,335
合計	20,937	99	86	98	92	71	50	98	39	119	39	90	47	115	54	100	179	21,955
							148		158		129		162		154		22,134	

(2) 進路状況（令和7年度）

進路 科	進学 (専修各種を含む)		進学予定		就職		就職予定		家事従事		卒業生数	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
普通科	24	50	0	0	4	9	2	2	0	0	30	61
家政科	5	24	0	0	3	5	1	0	1	0	10	29
情報科	5	6	0	0	9	3	0	1	0	0	14	10
合計	34	80	0	0	16	17	3	3	1	0	54	100
	114		0		33		6		1		154	

13 生徒会組織



14 部活動一覧

部・同好会の名称	顧問名	部・同好会の名称	顧問名
バレーボール部	男子：工藤(幸) 女子：小山内(悠)	写真部	泉
ソフトボール部	藤田, 齊藤(明)	放送部	玉田, 今野
バスケットボール部	小野, 芹川(拓) 三浦, 今	演劇部	田邊
バドミントン部	奈良岡(妙), (内山)	J R C 部	中村
卓球部	齋藤(敬), (工藤(幸))	茶道部	宮野
弓道部	芹川(巧), (田中(涼))	手芸部	田中(涼)
ソフトテニス部	奈良岡(秀)	イラスト・美術部	高橋(千)
柔道部	一戸	音楽部	工藤(絵)
陸上競技部	三ツ橋, (高橋(千))	書道部	棟方
サッカー部	山内	吹奏楽部	比内
射撃部	一戸, (小山内(悠))	園芸部	内山
新体操部	北谷		

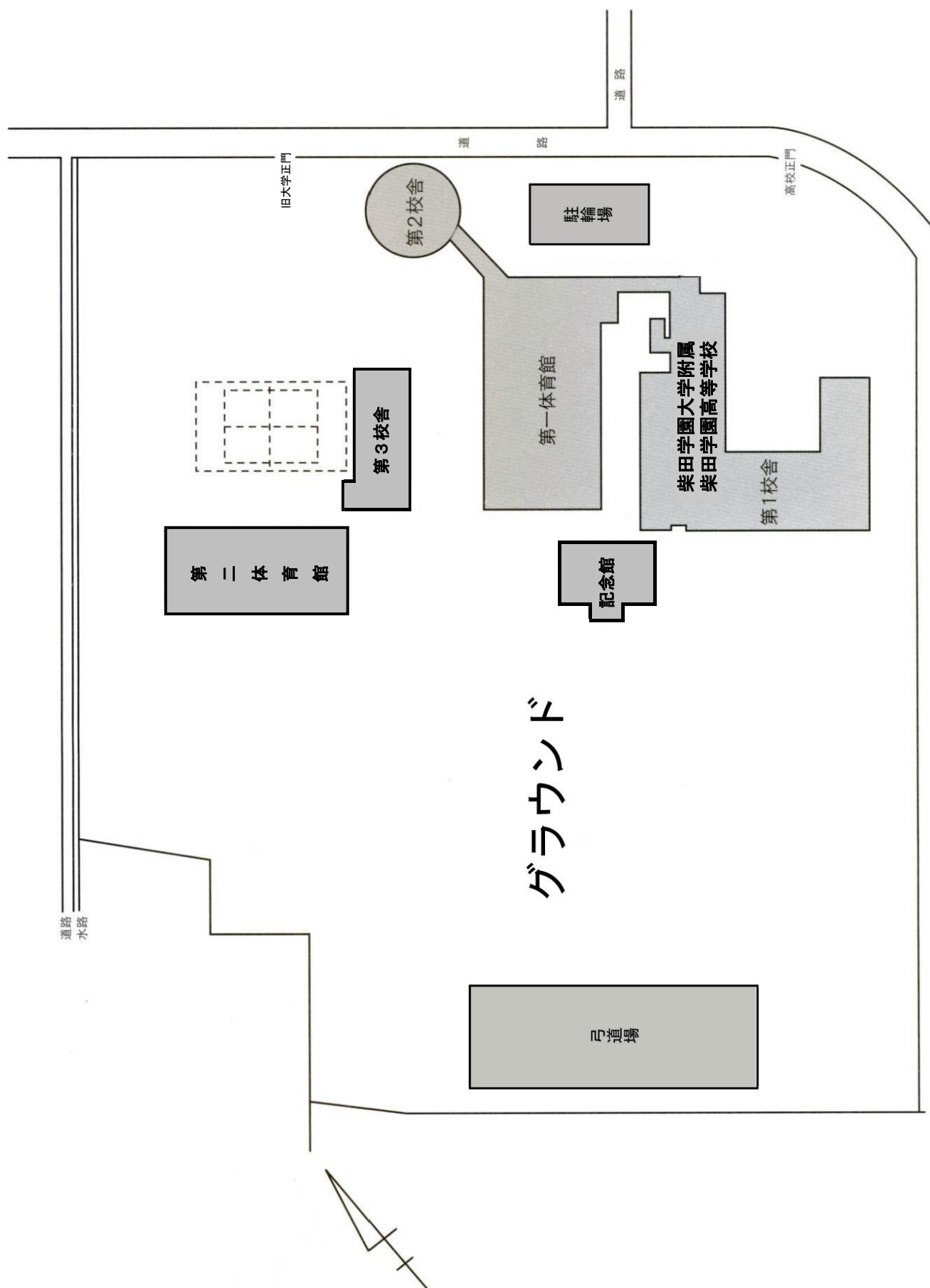
15 学校図書館

NDCによる分類別蔵書冊数

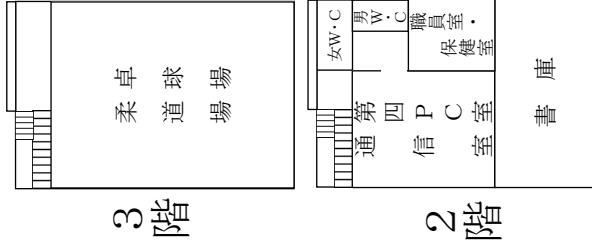
令和8年5月1日

記号	000	100	200	300	400	500	600	700	800	900	総数
分類	総記	哲学 宗教	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	
冊数	1,023	816	2,136	2,552	1,932	1,182	185	2,144	878	7,461	20,309

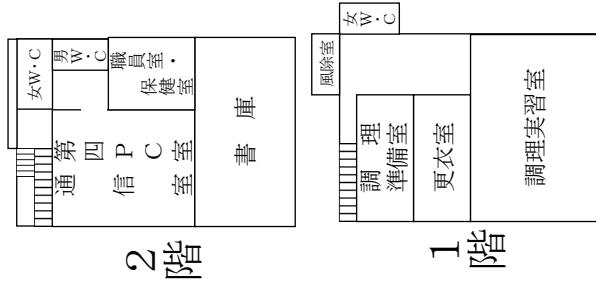
16 校舎配置図



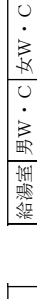
令和8年度



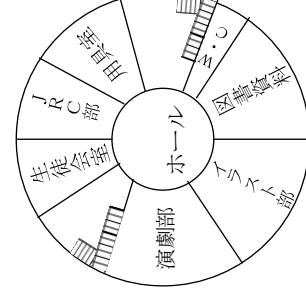
1 陪



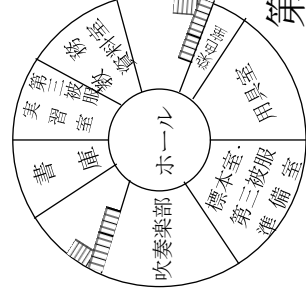
附 1



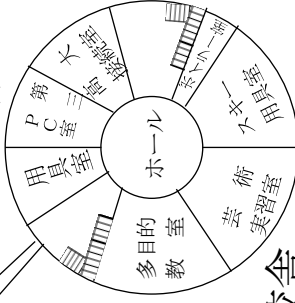
3階



附 2



第3校全



第2校舎